

平成27年度 第3回西伊豆町立文教施設等整備委員会 会議録

- 1 開催日 平成27年11月16日(月) 午後7時00分から午後9時
- 2 場 所 保健センター2階 会議室
- 3 出席者 委員は別紙のとおり
藤井町長、宮崎教育長、高木事務局長、山本係長、長友指導主事、端山、江畑
- 5 報 道 静岡新聞

事務局

みなさんこんばんは。

今日はお忙しい中、夜間の会合にお集まりいただきましてありがとうございます。本日は第3回の西伊豆町立文教施設等整備委員会と言うことで開催をさせていただきたいと思っております。それでは挨拶と言うことで、委員長よろしくお願ひします。

委員長

みなさんこんばんは。大変お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。この文教施設等整備委員会は、本来町の未来を見据えたものであると思ひます。ご承知のように今回十分に審議がされないまま中止せざるを得なくなったという現状がありました。私としては、4地区を回らせていただきまして、それぞれの地区の問題点や課題を聞いたつもりでございます。しかしながら2つの地区が意見を吸い上げることができなかつたということが残念な形であります。それぞれの立場の中で意見を集約して、今回それを報告するという会議になっています。西伊豆町の将来を担う子ども達のためにという副題で、今日の会で十分に意見が出されればいいと思ひます。私は4つ見させていただいたという観点の中で、この会が正直な所どういふ会であるのかというところで心配なところもあります。意見を出すだけでその効力がない形の中で今後も進んでいくのか、ある程度皆さんの知恵が十分に活かされていくようになってくれればありがたいと思ひます。今日はよろしくお願ひします。

事務局

ありがとうございます。それでは次にオブザーバーとして出席いただいております、藤井町長よりご挨拶お願ひいたします。

町当局

みなさんこんばんは。

賀茂地区の父兄が、統合しようと言っても、私たちは嫌ですよというなかで、田子、仁科で統合の話をして意味がないのでは、失礼に当たるのではないかと判断をいたしまして、そこで田子と仁科の父兄の方々には今後の学校の在り方ということで意見集約をしております。別に委員長がおっしゃりましたが、意見集約をしていないというようなことはありません。それとこの会の意見がどのように反映されるかということですが、意見

は反映していくつもりでおります。ですからこういう会合を開いているわけで、別にこの会の意見を無視して町の一方的な考えでやるのであれば、この会合は開きません。皆さん方の意見を参考にしながら、町の方針を決めていきたいということで、この会合をやっておりますし、今までもそのようなことで進めてきました。是非皆さん方の忌憚のない意見を今日は聞きたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

委員長

それでは園・学校統合に関する意見交換ということで、先ほども申し上げましたが、所属団体、組織ごとにご意見が出て、まとまったところを教えていただきたいと思っております。それでは幼稚園、保育園からお願いします。

委員

[Redacted]

委員長

次をお願いします。

委員

[Redacted]、幼小中どれを優先した方がいいかということと、その理由のアンケートを取りました。その結果として、やはり幼稚園、保育園を先にやってほしいということで、その次に中学校、小学校の順で整備してほしいということでした。どこも共通したことだと思っておりますが、津波の心配をしている父兄が多かったようです。建物を高台にしてほしいという意見が多かったと思っております。時期的なことは特に今回のアンケートでは伺いませんでしたが、なるべく早くという意見がありました。以上です。

委員

賀茂幼稚園です。賀茂幼稚園では早々にアンケートを作成した賀茂小にならない、

同じ質問を取り入れたものを10月に実施しました。その結果と寄せられた意見を話したいと思います。まず平成33年度から賀茂小学校は2,3年生が複式になります。そこで小学校の統合について質問しますというもので、このまま複式になっても構わないので賀茂小を存続させてほしいというのが6名。複式では十分な学習効果が期待できないので統合してほしいというのが11名。その中に学習面より大きな集団の中で経験させたいというものもありました。その他が4人いまして、十分な学習効果が期待できないとは思わないが、複式にするならば町内に3校あるので統合でもよいのではという意見もありました。次に今のなかで複式では十分な学習効果が期待できないので統合してほしいというものに丸を付けた方にした質問で、統合の方法等についてのご意見がある方はご記入してくださいという形のところで、安全な避難地がしっかりあるところ、災害時の迎えなどを考えると小中同じところにあるのが望ましいという意見がありました。次に西伊豆町の3つの園は浸水域想定区域にあり、安全を最優先にするなら、幼保の統合が先なのではないか、また子どもが小さいうちに一緒にした方がいいのではという意見もあります。そこで統合についての質問ということで、幼保はそのまま地域ごとに残してほしいという方が7名。この中では小さな子の声が聞こえないのは寂しいので残してほしいというものもあります。統合して高台へ移転してほしいというものが11名。その他が3名。その他で自由に記述してくださいというところでは、統合は仕方ないが子どもの安全を最優先で考えて欲しい。これから少子化になるので統合した方がよい。反対意見としては、統合しないでほしい。統合した場合、どこの校舎を使うのか、園舎を使うのか。または新しいものを建てるのか。そこが重要なことだと思います。小学校でも3校交流事業で、社会科見学や交流活動などをおこなっておりますが、賀茂小学校は人数が少ないためにグループ分けした場合、他の学校の生徒の中に1人入れられ、一日楽しめないまま昼食を1人で食べて帰ってくるような状況です。無理に統合しこのような学校生活をおこない、次第に子どもが学校に通うことすらできなくなってしまう可能性があります。統合するのであれば、あらゆる問題を想定して対策を進めていく必要があると思いますという意見もありました。賀茂幼稚園の中でも、自分の子どもが何歳で統合の対象の学年かどうかでも意見が変わる等、一概にはまとめにくく、今回の結果はあくまでも今年度の保護者の意見です。その際に考えられる問題とそれに対する対応策を具体的に示してほしいことなどがあげられます。安良里、宇久須地区は少人数ということもあり統合には賛否両論、切実な思いを抱えている保護者も少なくありません。また今後話し合いを続けていく中で、各地区会で誤解になる場所がないように、引き続きご配慮いただきたいと思います。以上です。

委員長

幼稚園に関してはこれで終わりですね。今のご意見を聞いて何かありますでしょうか。統合については安全な所、小中同じところに置いた方が安心という声もありました。やはりそこで出てくる防災対策が必要になってくると思います。

委員



[Redacted text block]

委員

[Redacted text block]

委員

[Redacted text block]

[Redacted text block]

委員長 それでは中学校の方は如何でしょうか。

委員

[Redacted text block]

[Redacted]

委員

[Redacted]

委員長

園長先生方は如何でしょうか。もしよろしければ。

町当局 園長先生方は町の職員なので、あまり聞かないでください。

委員長 それでは小学校の校長先生方は如何でしょうか。

委員 この前に僻地の学校を見てきたのですが、その学校は学級が1人という所もありましたが、その学校はその学校なりに元気にやっております。ですが「聞き取り不明」は変わらないということで苦労はありました。だから複式だからすべてが悪いという訳でもありませんし、だからといって複式がいいという訳ではありません。教職員は人数が少なくなってもそれなりの対応をしていかなければと思っております。田子小学校は再来年には完全な複式の対象になるので、来年からそのような研修もしていかなければならない。静岡は複式学級でも市へ講師を何人か雇えば、4教科については1学年で授業が出来るようになる。そういう状況だとどういう授業になるのか。そういうことも研修していき、対応できるようにしていこうと考えております。

委員 教職員からすると預かっている子ども達のこと、毎日が追われていて精一杯なので、統合と決まったらそれについて動くだけ。今いる子達だけで精いっぱいというところが本音です。私の個人的な考えなのですが、子ども達の教育効果ということ用最優先にして考えていただきたいということが大前提で、小規模は小規模校の良さがありますし、子どもにとっても適正な規模という面でも、ある程度の集団を維持したなかで子ども達が学ぶことが、それなりの社会性を身につけるという効果もあるので、そういった中でいずれは統合という話も出てくるのでしょうか、その規模がどれくらいなのか、また時期は何時になるのかということを含めて話し合いを進めていただきたいと思います。以上です。

委員 ほぼ同じで適正規模とか言われていますが、日本全国を見てもみますと小規模校はあります。その小規模校が良くないかといいますと、必ずしもそうでないわけで、私たちは目の前にいる子ども達にとって何が出来るのかということを考えなければいけないということで、職員の考えについても統合するにせよ、しないにせよ、とにかく目の前にいる子ども達のために何が出来るか考えてやっていくことしかないということです。

委員長 区長さん方はどうでしたでしょうか。

委員 区長会に出しましたらとりあえず町の考えを聞いてこいということになりまして、町の教育に関する考えというのは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律という法律で、大綱を発表しなければならないとなっておりますが、西伊豆町の大綱をインターネットで探してみましたがありませんでした。別の方法で公表しているというものがあれば教えてください。

委員 意見交換をしたのですが、どちらかという区長が先走って意見を言うのではなく、父兄の意見を尊重した方がいいという意見がかなり出たのですが、統合に関しては特別反対は無く、町が進めるのでしたら進めてもいいのではないかという意見でしたが、将来的なことを考えると、あまり小学校、中学校がばらばらにならない方がいいという意見がありまして、小学校と中学校が同じ敷地にあった場合の安全性を考えた場所をよく検討して、進めていただきたいという意見でした。

委員 [REDACTED] 統合については賛成。時期、場所はもろもろの条件があると思うので、PTAなり行政の考えにそった形で進めた方がいいのではないのでしょうかという意見でした。こうしろああしろというのは区長サイドとしては如何なものかという感じでした。区長会長が言いましたが、中学校については出来る限り早めにやってほしい。でも小中一体化がいいのではないかという意見がありました。以上です。

委員長 意見交換をしながらまとめたのですが、結論として統合は避けては通れない。これはもう速やかにやる時期に来ているのではないかと思います。そういうことで統合については、何ら問題はないのではないかということでした。場所については、仁科地区の地形を考えますと、大沢里地区など長い通学時間をかけることになるので、具体的には西伊豆中学校になるのがセオリーではないかという意見がでました。それか新しい場所をという意見がありましたけども、やはり新しい場所につきましては、状況を考えると現存の施設を利用していくのが適切ではないかということで、具体的には西伊豆中という案がでました。それから時期については、理想としては出来るだけ早くということを行っているのですが、ちょっと他の声上がるまで待つべきではないかということでした。そして他の区長さんが言うように、区の方が何かを言うよりも、現場の方々の意見を大事にするべきではないかということでした。以上です。今区長さんの方から町の考えをお聞きしたいということでしたが、これについてはどうでしょうか。

町当局 教育大綱につきましては、今月中に策定ということで12月1日の町の広報とインターネットで公表する予定でありますけども、その中ではどこの学校ということではなくて、少子化を踏まえた幼、小、中学校の統合の検討という表現にとどめております。これは町が決定するというよりも、こうやって皆様方からご意見を伺う中で決定するということですから、今の段階で場所は決まっておりますので、そこを検討していくという表現になっております。

委員長 よろしいでしょうか。

委員 それではそれをプリントアウトして区長会に持っていきますが、ただ最終的には中学校はひとつになると思います。ただそれまでの過程で前にも町長が言いましたけど

も、賀茂中に不登校の生徒が10%ほどいることを考えると、小中一貫校あたりは一つの間ステップとしてあってもいいのかという気はしています。何故かといいますと、賀茂中と賀茂小は通路で繋がっていて、交流がしやすいと思う。グラウンドもひとつしかありませんし。そういう中間ステップとして最終的には一つになるのかと考えております。

委員長 それぞれのお立場から幼稚園、小学校、中学校というような形で、総合的に意見を頂きました。それではまず幼稚園の意見の振り返りをしてみたいと思います。幼稚園についてはやはり子供たちの体力等を考えると、通学時間などがすこしネックになるのかと。そして出来るだけ近くで安全でという形で、半々の意見が最終的には多かったかと思えます。そういう中で出てきているのが、安全面、安全対策が強く叫ばれております。そしてそれぞれの地域で一つは欲しいという意見も来ております。そういうようなことがございますが、如何でしょうか。なかなか結論を出すところまでは、この会ではできるのかと思うのですが。

委員 安全の面について、今現行の学校の場所の安全性ということ通りとされていますが、仮にこれがどの場所での統合となっても、通学時間帯というものがあります。大体学校の拘束時間というと8時間程度でございましょうか。部活等を含めるとそれくらいになりますよね。となると24時間の内8時間学校にいますね。それ以外の16時間は家庭や通学ですね。こういう問題もありますので、その辺は行政も含めてマニュアル的なものを構築して、ディスカッションしていったらいいかと思えます。

委員長 昨日も下田で静岡県自主防災の会議がありまして、とにかく4分以内に安全な高台にという話がありました。4分5分で高台へという形なので、いつ来るか分からない、しかしもう来ていいはずという言葉があります。子どもを安全に守るという見地で、椿委員の方が安全性と安全マニュアル、それから通学の時間がキーワードになってくるというお話を頂きました。大方の動きとしてパーセンテージは半々というご意見を伺っているということで、結論をというところまではなかなか出せないという感じがします。

事務局 意見が出ないようであれば、今日の意見の部分事務局として取りまとめをしまして、もう一度皆さんにお示しして次回話を進めていただくという形でも構いません。出来るだけ各団体の意見を聞いた中で、皆さんからの意見をもう少しいただけるとありがたいと思います。

委員 一つ要望なのですが、先ほど申しました地方教育行政の組織及び運営に関する法律を見ると、第1条の4の7の総合教育会議の終了後、遅滞なく、総合教育会議の定めるところによりその議事録を作成し、これを公表するよう努めなければならない。という法律がございませぬ。そして教育委員会に関しても、教育委員会の終了後、議事

録を作成し、これを公表するよう努めなければならない。とありまして、私は静岡県
の各自治体の総合教育会議や教育委員会の議事録を探したのですが、しっかり作られ
て、インターネット上に公開されているのがほとんどで、西伊豆町は無かったのです
が、どのようになっていますか。

事務局 公開はしております。事務局の方へと来ていただければ議事録の公開はしておりま
す。ホームページの公開はまだしていません。

委員 ネットにアップするようなことはしないのですか。

事務局 今のところ公開はしていないのですが、今後どうするかというのは検討課題という
ことです。

委員 そのへんでみんなが関心を持って、こういうことが話し合われたということを知る
ことができれば、また違ってくるのかと思います。出来るだけ公開していただけるよ
うにお願いしたいと思います。

委員長 何か幼稚園関係で付け加えや、質問はありませんでしょうか。

委員 よろしいでしょうか。昨年の資料を頂いたら、平成26年度8月16日に幼稚園、
保育園は認定こども園として1園に統合し、高台に新設と定められて、それから11
月7日にも統合して安全な場所に移転とありまして、これは我々の前の委員会では問
題なくそのような意見が下りていないですか。

委員長 どうでしょうか。一昨年度でしょうか。

町当局 そういう意見が出てもやれないという現状があるもので、ですからそれをまだやら
ないと。ただ私たちは幼稚園、保育園で一緒になって、小学校で別々になってしまう
というのはどうなのか。それならば最終学校の中学校で一緒になったほうがいいのか
ではないか。それと中学校の統合を先にしたのは、学年の維持ができるのだろうかとい
う心配をしたものですから、どうですかと投げかけたらまだ統合はいらぬというこ
とでありますから、一時これは白紙にしたということです。それが今から皆さん方、
父兄を含めて住民の方々がどういう風な意向があるのか、それをみんなで話し合っ
て、その意向を見ながら進めていきたいと思えます。現状この会でこういう風にな
ったからそれをやれというのは、私たちもできません。

委員長 特に幼稚園関係の方はそういう形の中でまとめるような形でも。

町当局 ここで幼稚園は早く統合した方がいいと現状のままと半々になっていますね。それ

でいて賀茂幼稚園は存続してほしい、仁科幼稚園は存続してほしいというような、地域エゴはどうしても出てきます。そうすると行政としては、最後は反対があっても、やらなければいけないという感情を今日持ちました。もう一つは学校として、一つの学年が5人や3人という可能性が出てくるわけですね。今年産まれてくる子どもが12人、13人。田子が2人。賀茂が3人というような人数になった時に、それで父兄が統合しなくてもいいと言ったとしても、町として統合しなければいけないと判断すれば、それはもう切り捨ててやるかもしれません。町としてどのように学校運営をしていくかというのは、学校と話をしなければいけませんけども、それはある程度町が指導をしていかなければいけない時期が来るのではないかと思います。これは皆さん方にも了承していただきたいと思うのですが、そのようなことが無いように進めていきたいものですから、皆さん方のご意見を伺っているということでもあります。ただ色々な条件を見てもみますと、中学校も西伊豆町だけではなく、松崎町との統合も視野に入れて考えなければいけない時期に来ているのではないかとということで、松崎町の町長と雑談ではありますが、そのような話を話し合っていかなければならないということで、教育委員会の統合ということも見据えた中で、年度末には松崎町の教育委員会と当町の教育委員会と一緒に岐阜県へと視察へ行ってきました。そういう風にして出来るものであれば、出来るだけ子どもたちの数を確保しながら町も財政的に負担のかからないような方法でやっていけたらという思いがありますので、その辺は父兄の方々とは意見が合わないかもしれないですが、そういうことも考えながらやっていかなければならない時期に来ていることを、皆さんご承知お願いします。

委員長

小学校の方は如何でしょうか。小学校はやはり自分の学校にという形の中で、安全面。小規模は小規模の良さを引き出していきたいというような考えなのかと思います。

委員

[Redacted]

町当局

それは私もそういう発言をしていたものですから、それは私も悪かったのですが、地区での説明会の中では賛成した人は1人もいませんでした。反対だけでした。ですから私は反対だけだった報告いたしましたから、皆さん方もそういう理解でいたと思います。

委員

私と町長ととらえ方が違ったのですが、あの時父兄の方は厳しい意見を言っており

ましたけども、統合反対というものは私は無かったと思う。ただ急に統合ということにより話を聞いていなかったの、危ないところへ行かせたくないという声がありました。今の父兄は子ども命ですから、子どものことになると目の色を変えて、他のことが見えなくなるので、子どもの安全となると厳しくいうのですが、絶対に統合は嫌だという話はなかったと思います。

町当局 あの時少人数でも賀茂中学校はやっていける、部活でも強いチームは出来ているということまでいっておいりました。今になってそんなことを言ってもだめなのですよ。あの雰囲気は反対でした。統合した方がいいという意見がありましたか。

委員 賛成という意見はありませんでしたが。

町当局 なので反対でしょう、

委員 確かになかったですけども、西伊豆中学校を使う前提なのだという話でしたら嫌だというような感じでしたね。

町当局 それならばその時に賛成といってくればよかったのですよ。今になってそんなことを言っても遅いのですよ。もっと早く言ってくればいいのですよ。

委員 その場で今言ったようなことの町長の話があったと思いますが、現に今この場では賛成の方が多いわけですよ。その辺は十分に鑑みて父兄の方も歩み寄るところは歩み寄る。行政の方も教育行政としてちゃんとお互いにうまくやって、どうしたってこれは統合の方向へ持っていかなければいけないので、そういう風に進めた方がいいのではないのでしょうか。

町当局 統合はみなさん賛成なのですよね。ただ校舎は何処を使うかというところで問題になるのですよね。ですから幼稚園、保育園、小学校、中学校を相対的に考えて統合を考えた方がいいのか、それともすべてを分けて、3つの段階にした方がいいのか。それになってくるとだいぶ考え方が変わってくると思います。その辺をこういうところで話し合っていただくと、幼保と小学校、中学校を別々に考えようと。一緒になると現状では広い校舎が無いので、どうしてもできないということになりますので、今すぐに賀茂小学校を使ってもなかなかな出来ない。仁科小学校は出来るのか。

町当局 仁科小と西伊豆中を使えば。

町当局 そうすると宇久須、安良里の方々が心配した安全の面について、2階、3階に上がれば大丈夫だと言っても、それでも危険だからいやだという話になってくると、ではどこがいいかという問題になってくるので、そういうことになると一番安全な浸水域

に入っていない賀茂小学校、中学校です。あそこに持ってくしかない。そういうことになると現状ではあそこには入れません。子どもがもっと少なくならなければ、今の賀茂小中学校には入れません。ということがありますので、これがある程度解消しなければ統合は出来ません。

委員長

私も4つの会場に行き直にご意見を拝聴しまして、今回のアンケートの結果を見ますと一部の反対意見が積極的に発言して、賛成の人たちは意見を述べない形なので、傍聴していたというのが私の率直な感想です。

その形で小学校は今町長さんが言われましてことも踏まえて、安全という枠の中で、小学校と中学校が出来ただけ一体化した形のスペースが安心できるのではないかとというのがみなさんからのご意見でした。そういうところを踏まえまして、私はこの皆さんから出された意見を、町の方針というものを明確に出していただいて、それを熟慮した町の意見を我々としては尊重していかざるをえないのかと思います。やはりいろんな観点から検討して、町がその方針を出していくということに関しては、町長さんが言われまして1点突破でやっていかなければならない形ならば、明確に出していくということが、大事だと思いますので、皆さんから出された意見を吸い上げていただきたいと思いました。続きまして中学校の方は如何でしょうか。大体概ね今のすぐにとという考え方。区長会の方からはちょっと間を置いた方がいいのではないかとということもありました。しかし区長会の考え方としては、皆さんの考え方を尊重していくべきで、区長が口出す立場ではないということでした。

委員

今大方に幼稚園、小学校、中学校と意見を聞いていますけども、どこも総論は賛成ですけども、各論で反対です。町長が言いましたが地域エゴが出てきます。そのところを私たちが考えてやっていかないと、前に進まないのではないかと。このところで一回事務局に預け、ちゃんとこの話を整理してもらってから、私たちがもらいまして、地域エゴは何処にいても出てくるものなので、これをどういう風に私たちがみていくか、例えば保護者ならどのように理解してもらおうか。そういう風にしていかなないと、ここで意見を問われても意見はなかなか出てきません。

委員長

まあそういう意味で考えてこれからの方向は、ある程度事務局の方で今もらった意見を整理をしていただく中で、具体的に方針のもとに具体化してく形へと持って行ってもらいたいと思います。

町当局

ある程度こちらで出すということですか。

委員長

そうですね。意見を大体聞いたと思いますからその意見を。

町当局

では大体の意見をまとめてください。そうすればまとめさせますので。教育委員会

がまとめるのではなく、この会議である程度の方向性を出していただければ。ただ先ほどの議事録出すのですよね。

事務局 みなさんの意見を取りまとめたものを出します。

町当局 統合について方針のことに關してではないですか。

事務局 私が先ほどはそこまでは言っておりません。

委員 今言われたことはそういう意味ではないのではと自分は思ったのですが。総論はもう統合には賛成だけど、先ほど校長さんが言われた各論でどういう風にしようかというの、町の方がその問題点を定義して、それに対する父兄の方や関係者をうまくミーティングで吸い上げていくという風に受け取ったのですが、そうですか。

町当局 町がある程度方向性を出せということですか。

委員 私もその辺はまだ結論は出ませんが、町が方針出してくれた方がいいのか、それか全部意見を聞いたところですので、議事録を読ませてもらいながらもう一度自分たちで意見を構築しながらここでどういう風にしていくかと話していく方法もあるかと思います。

委員 田子小学校でも保護者会で話し合ったのですが、保護者の中から具体的な方向が無いのに、意見を聞かれても意見の言いようがないということは何人かから出ています。なので町はどういう風にしたいと考えているのか。財政がどうなっているのか私たちはわからないので、こういうことはできるけど、これはできないということは分からないのではないのでしょうか。安全面として安全な場所が無理だとしたら、こんな安全対策が出来て、ここならそれが出来るなど示してくれると話し合いができます。それと私たちは選挙で選ばれた人間ではないので、地域を代表したという形ではないかと思います。ですからここで決定するということはものすごく無理なことだと思います。意見は言わせてもらいますが。

町当局 冒頭で言いましたように、ここの意見を決定だとは私はとらえておりません。それは決定するのは行政であり、最終的な決定は議会に通さなければいけませんから、最終決断は議会ということになります。それまでには町がある程度指導していかなければいけないという中で、皆さんからの意見を聞いてある程度まとめた方がいいのか。それとも今も出ています通り町がある程度の方針を決めてそれでやった方がいいのか。その辺はどういうようにしたらいいのか。町が主導でやれば知らない人は、町は横暴だとか言いたい人はたくさんいますからね。そういう中で皆様方の意見を聞いて、ある程度方向が決まればそれでやっていきたいと。それで最初にやったのも、学

校区で話し合いを持った時には、ほとんどの人が早くやれという意見で私たちは進めました。そして教育長にも県の教育委員会あたりに言って、最短で出来るのはいつだと聞いたところ、平成29年の4月で今なら間に合うということで、では平成29年の4月で統合をしようということで今度は地区を含めた父兄の方々に話をしたら、そんな早急なという意見が出てきまして、私たちはびっくりしました。それはもう初めの合併の話し合いの中では、PTAの方々は早くやれという意見がほとんどでした。反対する方はほとんどいませんでした。宇久須で1人か2人いる程度でした。ですから私たちはそれを持ち帰って、29年の4月に統合しよう。最短の時期はそこだということで、それをもっていきましたら、今度は真逆の結論になりましたので、それはどういう風に捉えていいのか私も分からないのですが、皆さん方の意見を聞いて、ある程度の町の方向性を決めたいと、皆さん方だけではなくて、他の議会もそうですし、教育委員会の色々な委員会がありますから、そういう中で意見を聴取して最終的な方向を決めたらいいのでは、という思いで皆さん方に今投げかけているわけです。

委員長 なかなか幼稚園はどうする、中学校はどうすると意見を出したのですけども、それをまとめて一つにするということは、私は難しいなと思います。そういう意見があって、大体の方向性などを事務局が汲んでいただいて町の方針を生かす中で、そこでコンセンサスを互いに持っていくという形で進めていけたらと思います。ここで賛成反対だとか一つの方向にというのは、今の段階では難しいかと思います。その他に要望とか意見がありましたらお願いします。

委員 要望で事務局にお願いしたいのですが、みんな各幼保、小学校、中学校でアンケートを作成してきたと思うのですが、できれば他の人の目に触れるように、1部ずつでも配布していただいけませんか。配布していただければ、他の細かい意見が分かるようになりますので。

町当局 全部出してもらって皆さんに配布するように。

事務局 事務局としても今後検討してのですが、皆さん安全な場所としての意見が多く出ていると思うのですが、その安全な場所の定義というのが難しく仁科小、西伊豆中の方では、津波は来るけども想定外の津波が来た時に、裏山があるから安全だと考える方もいらっしゃいますし、津波が来ない所が安全だと考える方もいます。事務局としては捉えにくい部分がありますので、もしその辺のお考え方がありましたら、今お伺えができればと思います。

委員長 今安全という形で事務局の方から具体的な安全に対する考え方についてありました。

委員 だから中学校だけのことを考えれば、町の考えている2階3階に避難すれば

浸水域から外れて安全だと考えられるが、全てを考えると浸水域でない所の方が安全と考えられるとみんな思うのですよ。ただこのように話を聞いていると、賀茂中は浸水域から外れているから安全だけど、キャパの問題があるとか、町の財政を考えると、西伊豆中しかないということになりますね。財政があるのなら新しく建替えをしたりだとかできるのだと思うのですが。

委員長 確かに言われたような浸水域以外や高台に移行できるのならこしたことはないのですが、財政上の問題や課題が沢山あることは想像できます。そうした場合、今事務局長から安全に対する定義について話がありましたが、やはりAのところにするためにどういう安全対策を具体的に講じて、Aのところをどうだろうかという形で出していただいた方が、やはり今近藤さんが言いました、通り水が来ない所、高台。これをより安全、より安全となると、キリが無いので、そういう西伊豆町の学校の立地条件などを考えた時に、やはり安全対策として町は学校問題をこういう風に捉えていくという方向で示して、その中に方針というものが出てくるのではないのかと思います。

町当局 それを考えた中で西伊豆中学校に統合したいと。西伊豆中学校に行けば3階で浸水域には入らない。何とかそれで安全対策はクリアできるのではないかという判断のもとに、西伊豆中学校を使った中学校の統合を町は考えました。ですから考えていないという訳ではないのです。それを考えた中で西伊豆中学校は3階なら大丈夫だという県のシミュレーションがありますので、そういう結論を出して進めたことになります。

委員長 そういう方向の中で進めていかれると、コンセンサスを得られるのではないかと思います。

委員 現状学校の考え方で安全て言うのは、津波が5分以内に来る場合に逃げられる所。被害者を0人にしなければならぬので、仁科小学校で屋上に逃げると1年生が3分30秒で点呼まで終わります。なので時間と高さはクリアできます。耐震はしておりB査定ですから、耐震診断士が許可を得なくても中に入れるくらいの安全を確保している校舎ですので、そこはいいと思います。ただ町長が昔から言う通り、時間があるのであれば山へ逃げれば高さはほとんど確保できますので、そちらへ逃げることも。ようするに一つの選択肢だけに縛られてしまうと、大川小学校のようなことになってしまいますので、やはり突発でどうしようもなければ、3階や屋上へ逃げるというのが、うちの考えです。それが今考えられる安全です。それがもっと時間がある、もっと大きな津波が来るかもしれないという情報が入った場合で、10分とか時間があれば当然裏山に逃げる判断をします。それが今考えられる安全です。だからこそ仁科幼稚園も訓練をやっているのだと思います。学校は現状でどのように想定

外ということを考えずにやれるかということが安全だと考えます。

事務局 そのような形の中で、前回各地区でご提案させていただいたのですが、先ほど区長さんから話が合った通り津波浸水エリアだと安全じゃないというご意見が強くあったものですから、その辺をこの会として、今齋藤校長がおっしゃったようなことが安全の定義ということであれば、それをより安全性を高めるための方策を町としても考えられればと思っております。

委員長 ほかには如何でしょうか。

町当局 先ほど言ったように幼稚園、保育園、小学校、中学校を別々に考えたらいいのか、それとも一緒に考えればいいのか、その辺をこの会としてある程度そのくらいのことは決めていただくとありがたいのですが。

委員 いっぺんには無理なのではないでしょうか。見通しは持っている中で、ある程度段階的にやっていかないと、義務教育の場合は色々な不都合が出てくると思います。

町当局 では分けてやるということでいいでしょうか。

委員長 そういう考え方だろうと思っております。ただ今ちょっと町長さんがおっしゃった時に、小学校と中学校を一緒に敷地内か近隣にあった方が。例えばですが具体的に言いますと、賀茂小と賀茂中が廊下で繋がっていたりだとか、仁科小と西伊豆中もやはり走れば、1分かからないというレベルの場所にありますそういったときに小中がコンパクトにまとまっている場所という風に私はとりました。それについては如何でしょうか。先ほどでは時期のお話がありましたけども。できたら小中はセットでやった方がどうなのかというところですね。

委員 理想的な形で小中が一緒にあるのはいい形なのだと思いますが、別々でも構わないのかと。小学校中学校同じ敷地で9年間過ごすのですけども、中学校に上がった瞬間に、小学生と遊ぶ子がいました。昔の考え方だと僕たちは中学生でという形の悪い意味で線引きをして、遊ぶことも何をすることも成長を意味で、中学校として動いてきたつもりなのですが、今の子ども達は仲良くすることはいいのですが、小中学生の自分の切り替えができないような形の子ども達が多いのかと。いつまでも小学生を抜け出せない中学生いるのかと。親の目から見て、なぜ中学2年生になって小学生と同じところで遊んでいて、クラブがあったり、遊んでいたりみんな違うはずなのに、小学校に戻って遊んでしまうのかと、ここ3年自分の子どもを見ながら思った意見ですが、決して小学校と中学校が仲良く一緒に遊んではいけないということではないのですが、中

学生が小学校によって遊んでいるのか、中学生が中学生らしく生活出来ていないのかな。言葉が選べないのでガサツになりますが、中学生からはじかれた人間が、小学生の上になりたいということがあるのかと親として見えた所があるので、今の施設で賀茂中と西伊豆中の両方を考えても、小学校中学校の施設が少ないので。できないかもしれませんが逆に離れた方がもうちょっと中学生としての自覚といいますか、心構えだとか刺激にもなりますし、そういった形の方が個人的な意見なのですがいいのかと。昔中学校に入った時に、喧嘩をしても、なんだかんだやりながら仲良く3年間を過ごしたという記憶がありますので、合併するのも刺激になるのでいいことしかないと思うのですが、昔と違って喧嘩がいいとは言いませんが、何かがあってみんな仲良くなって、その3年間を過ごして、また高校で岐路に立つという方が一番いいのかなと。無理やり同じ学び舎の敷地内に収める必要はあるのかと今思いました。

委員 私は逆の考え方で、小中一貫校で9年間という長いスパンで先生方が子ども達を見ていく形。6年生というのは小学生のリーダーですね。ですが中学生になると一番下になります。となると部活の朝練の準備なども、朝早く来てコート整備などをしなければいけないので、リーダーだったものが一番下になってしまう。これが中1ギャップということで、不登校の一つの引き金になっていると、そういう風に私は思っております。そういうことなので、浜松市や静岡市も小中一貫校に全部切り替えるというのをしております。

委員 それがいいかどうかわかりませんが、それがいいか悪いかは現状をみてもらえればわかると思うのですが、賀茂中だからなおさら言えることだと思うのですが、その9年間がいいのかと。それをやっつけて1割は登校拒否の状態なのですが。

町当局 そればかりなのではないでしょうけども。

委員 別に一応こういう役目が無くても、こういう問題に直面しておりますので、そういう風に浜松がどうのこうのというのがいいはずなのでしたら、賀茂中でもいい結果が出ていいはずなのですが、それが出ていないということは。

町当局 小学校は別々で、中学校で同じになった経験はあるか。

事務局 わたしから下の年代ですね。

町当局 僕らは田子小学校、中学校同じ敷地内、今の小学校のところにあつたのですよね。小学校6年の時に、中学校が大田子に建ったので小学校と中学校が別々になりました。その時に何も抵抗はなかったと思いますね。賀茂もそういう風

なことが一時はあったか。小学校が初めに統合したのではないか。

事務局 中学校が先です。

町当局 中学校が宇久須に行って、安良里小学校が残ったということか。

委員 安良里も小学校と中学校が同じ敷地内にありましたね。私が中学校に上がる前くらいに坂本に…、それまでは一緒ですね。

町当局 仁科と宇久須の人たちは離れたことはないわけですね。仁科は小中学校がありますし、宇久須もそうですね。

委員長 どちらかへと別々にというのと、どちらかのほうへとというのが有る訳ですが、基本的には子どもの安全や通学時間、子ども達の発達などをみて望ましいものなのですが、結論的なものは専門家ではないわけですのでね。どうでしょうか。

委員 将来統合して、西伊豆町に小中が各1校しかないとなった場合、極端な話小学校はこっち、中学校はあっちとなるとあまり現実的ではない。

町当局 では高校はどうなのですか。

委員 高校生となると当然そうですね。

町当局 そこを言ったら何もできないですよ。

委員長 そのあたりがキーワードになってくるのだと思いますね。他に如何でしょうか。

町当局 統合するためにはどうするのかということをお話し合ってもらいたいのですよ。これが心配、あれが心配だということではなくて、やるためにはこういう問題があるけど、こういう解決したらどうだという話し合いでないと、統合は出来ないと思います。それだったらある程度機が熟すまで待つという風にしかならないと思います。これはみなさんの意見を無視して、町がある程度の方角を出すとなったら町長は大変ですよ。みなさんが思っている以上に。この中でも統合場所とかについては色々あります。仁科小中学校がいい、賀茂小中学校がいいというように。どちらかに決めれば、反対していた人たちは決めた人を悪く言うでしょう。それはもう覚悟しなければいけないのでしょうかね。それをある程度軽めてもらいたいために、こういう会をやるのですし、みなさんの聞きながら私が最終的な判断をしたいと思っていますが、何でもかんでも

町がとしますと、皆様方と話をせずその場で決めます。それをやりたくないの
で、皆さんの意見を聞いているわけで、ある程度の方向性を出してもらわない
と。本当に子どものためを考えて話をしましょう。地域のエゴなんて二の次だ
と思います。子どもがいなくなって寂しいのは当たり前です。子どもがいなくな
って寂しかったら、その子供たちの行事をその地区でやれば良いと思う。そ
ういう方法はいくらでも取れると思うのですけどね。

委員長 話が右往左往しましたが、要望や意見があれば出していただいて、なければ
先ほど言われたように、みなさんの意見をある程度まとめてそれをみて、また
知恵を絞っていく、具体的なものへと出せるものなら出していくという形でこ
の統合問題を考えていったらどうでしょうか。今この場で一つの方向に固めろ
と言ってもなかなかそれぞれの地域や状況が違うという中で一つにまとめる
というのは難しいのではないかと思います。私もここにいてどんなふうに最終
的にまとめていくかと原稿を作ってあったのですが、みなさんの意見を聞けば
それなりに動いてきますし、そこが統合の難しさであったり、またみんながそ
れぞれの園、学校を愛して子供たちを育てていくのだらうなと思います。した
が、十分な意見にまとまらなかったのですが、この意見は皆さんの団
体がそれぞれのPTA会員1人1人の意見が反映されたものと私は受け止め
ております。その資料が教育委員会の方で、みなさんに伝わるということ
です。その面ではよかったのではないかと。性急な意見を一つにすぐにまとめ
るというのは、私は出来ないと思いました。

事務局 もう一点みなさんのご意見を伺いたいのですがよろしいでしょうか。町とし
ては、財政上のことを考えると既存の建物を使いたいという考え方が有る訳な
のですが、それについてはみなさん今後進めていくうえでの考え方としては、
同じ方向で行くということでご理解いただいてもよろしいですか。

委員 保育園や幼稚園については、何らかの考えを持った方がいいと思います。0
歳児が避難することは無理な話ですし、小学校や中学校に関してはそれしかな
のかと思うのですが、認定こども園みたいな形でまとめるというような感じで、
考えて言った方がいいのではないのかと思います。

事務局 それも含めて、既存施設を使うということでもいいのかどうか。例えば小学校
を活用するというような方法もありますので、それも含めて既存施設でいいか
ということ。

委員 そういふのを含めていただけたらいいと思います。

委員長 既存の施設を活用していくという事務局の方からありました。色々な財政の

問題や、課題があると思います。その中で今ある施設を安全対策をとり、より子どもたちが安全に安心して学ぶことができるという考えですね。

委員 今の質問についてですが、僕は去年からいまして、もともとこの会議が始まった時に建替えの意見がものすごく多かったですよね。それができないから既存の施設でというように始まっているので、それに関して僕は問題ないのではないかと思っております。今更そんな質問することもないのでとも思います。お金があるのでしたら建替えてもらいたいとみんな間違いなく言うと思います。

町当局 幼稚園、認定こども園の場合は、給食センターが同じ敷地内になければいけないという制約がありますので、給食センターを松崎とやろうと思ったのですが、そういう制約があるのであれば、新しい幼稚園、保育園、認定こども園というものをやると、そこへと給食センターを造らなければいけないということもあるので、給食センターの設置の方にも係わってくるということなので、なかなか簡単にはいかないのが現状です。今私の頭の中には、0歳児を避難させるということとはなかなか大変なことです。ですからできれば、幼稚園、保育園、認定こども園については、避難しなくてもいい場所へとやるのがベターではないかと思っております。ただそれがどこかは分かりません。土地があるのかなのか、建てられるのかどうなのか、その辺も今から考えなければいけませんけども、そういうことで幼保から小中まで考えて、相対的な中で一番初めに中学校を持ち出したわけです。全体をやらなければならないのかなど。統合の問題は中学や小学校はこう、ように皆さんの理解を得られないのかと。それとも先に中学校をやって、目途が付いたら小学校をやろうというような段階を踏んだ方がいいのか、その辺は分かりませんが、幼稚園、保育園の0歳児の子ども達は避難しなくてもいい所がいいということは分かっているのですけどね。ただ議会などで洋ランの跡地という話が出ましたけども、あそこは山崩れが大丈夫なのか、また保育士がほとんど女性の方という中で子ども達と女性がああいっしょに離れたところにいた時に、安全、防犯面を考えますとあそこはベターではないという判断をしております。津波だけを見れば安全でしょう。ですがそれだけではいけないということがあります。

委員長 非常に真剣な討議をしていただいて、ありがとうございました。

事務局 各団体のアンケートを取ったものにつきまして、事務局にいただけたらと思います。まとめたものを皆さんにお配りしたいと思います。また次回までにある程度一覧表で分かるような感じでまとめられればと思います。

委員 要望ですが、いきなりこの場でデータを見せられて、それで考えをまとめろ

と言われますと厳しいですので、事前に配布かなにかしてもらえませんか。

事務局 そういうものまとめたものは、今までも事前にお渡ししておりますので、それで確認していただいております。同じような形にはさせていただきたいと思います。

委員 資料を配布する時のお願いなのですが、事前にアンケートを取る際に保護者の方から、統合とこの話し合いの場で活用させていただくという前提でアンケート取ったのですが、それを一般の人たちに公開するという前提ではないので、もし配るのであればこの会場の方だけの目に触れるという約束の中で、アンケートを委員会の方から資料として配布していただきたいと思います。

事務局 学校ごとで何パーセントとかという話がありましたが、取りまとめたものはないのでしょうか。先生の言っているのは個々のということですよね。

委員 個々の家庭からの意見。文字だけが1人歩きしてしまって、色々な誤解を生みますので、この会の席上の方だけの資料として活用してほしい。

事務局 それで各団体の人はいいでしょうか。

委員 しょうがないですね。

町当局 それはお名前が無くても公表は避けてもらいたいというお考えですか。

委員 難しいのはそれを前提にアンケートを取って、意見を集約しましたので。

町当局 なら回収したほうがいいのではないか。

委員長 ですからそういう配慮をするということで、会が終わったら回収するということが如何でしょう。

町当局 そうでないと私がもらっておいて見せれば同じことですからね。それが無いようにしたいということですよね。それならば回収が一番いいのではないか。

委員 そのところで私たち幼保も意見のところ、選んだ理由のところも、全部の意見を集約したわけではなく、多いものや大事だと思ったものを、私が選択肢をここに入れただけなので、これが仁科幼保の一つの意見だというようにみんなにいつてしまうと、ただこの会で会長さんと話の中で、こういうことが多かったですよということを選んだ理由として出しただけですので、これがほ

んと仁科幼保の意見ですよとなった時には、仁科幼保の保護者が聞いた時に、私はこういう意見をここに書きましたということになると困りますので、そのところはここだけとか、パーセント表示のところだけでしたら、意見として出しても大丈夫だと思いますが、細かい意見内容を出すのであれば、消していただきたいと思います。

委員 今度どこの場所がいいかという話し合いになるのであれば、このアンケートを見ても感情論になっていますので、話が進まないと思います。先ほど言ったかと思いますが、こういうところでやるのであれば、このくらいの費用が掛かるだとか、この施設は何人くらい収容でいるから可能であるだとか、前に田子中学校と仁科中学校の統合の時にも給食センターの大きさだとかで、ここはこうだからこっちは難しい、こういう風にすれば解決するのではないかという案が話し合われて、あの中ではいろんな条件が話し合われて、仁科中学校のほうへ統合した方がいいのではというように意見がまとめられたと思います。アンケートを集めても結局同じことの繰り返し。学校だったらこのようなことが出来る、予算がこのくらいかかるだとかそういうものがあつた中で話し合わないと、自分は言い切れなかなと思います。

委員長 今コメントを言われた形で、数字的なものである程度傾向を捉えて、細部にまでわたってオープンにしてしまつて、それが1人歩きしてしまうと微妙な形になるので、そこを踏まえると校長先生から言われたことで考えると、資料の提示というのは出来る範囲の制約が係ると思います。したがって資料になりうるものぐらいのところではできませんか。そして場合によっては、元を持っていたら、ここの席でお話していただいて、それは公開しないというようにしてもらわないと。

町当局 パーセンテージだけにしてもらえばいいのではないかと。参考程度に。

委員 それではある程度でいいですか。皆さんパーセンテージは書いてありますか。無い場合は、計算すれば出てきますか。

委員 最初から出すという話なら出してきましたが、いきなり出せと言われても。

事務局 そういう数字が出ている所だけを事務局の方で取りまとめをして、お渡しするという事でよろしいでしょうか。

委員 ではそういう形で、今あるものの中でデジタル化できるものを出してもらおうと。

町当局 おおよそそれくらいというものは出ていますよね。何パーセントというもの

は。総数が分かればパーセンテージは分かりますね。

事務局 先ほどもパーセンテージで言われているところと、何件といわれているところもありますので、そういう形でそれぞれ出させていただくことでもいいでしょうか。細かいところはなしに、大まかな数字だけの資料をお渡しするということでよろしいですか。

委員長 そういう形にさせてください。まさか資料がこんなに丁寧に作ってきってもらえるとは思っておりませんでした。その資料についてはそういう形で、慎重に取り扱うということで行きたいと思います。

事務局 それでは閉会になりますが、副委員長から締めのお言葉をお願いします。

委員 感覚的なもので論議をしているのではないかと思います。前の仁科中と田子中の統合の時でも、結局統合はした方がいいという結論を出したけども、細かいことは決まり切れないもので、教員代表で私1人、校長代表で1人、あと何人か地区の名士と呼ばれる人たちと話し合っ、どちらの学校に統合すべきだ、今のような色々な資料を見て、その上で決めたと思っております。今はみんなそれぞれ地区の思いだとか、学校の思いを持って来ているので、自分は田子小のPTAを代表してきているけども、それで決めるのはとても重たいのではないかと思います。まとめにはならないかもしれませんが、この会がどこまで出来るのかというのをみなさん確認しておいた方がいいかと思います。以上です。

委員 終わる前にいいでしょうか。賀茂小のこのプリントは回収なされますか。

委員 いらないというのであれば回収しますが、もっていかれても構いません。

事務局 学校の方で問題ないということであれば大丈夫です。

委員長 迷走しましたけども、迷走するだけの意味のある会議だったと思います。ありがとうございました。

以上